

普及小委員会活動報告

普及小委員会
小委員長 大西 有三

1. 小委員会の目的

限られた空間に高密度な社会を営むべきわが国にとって、環境、経済、財政面の制約を受けるなか、豊かで活力ある地域・都市空間を形成するためには、地下空間の有効かつ計画的な活用はますます重要となっている。

しかしながら、地下空間の利用には、建設、運用、維持管理、防災などの面で、地上利用に比べてコスト高との評価がなされる等のためか、その普及はなかなか進んでいないのが実情である。

本小委員会は、これらの状況を踏まえて、一般の方々に広く地下空間利用の効果や有用性を認識して頂くための検討を行うものである。

2. 研究内容

2.1 テーマ

「地下空間利用の効果や有用性を一般の方々に広く認識して頂く」

2.2 基本方針

上記テーマに従い、以下に示す項目について実施する。

(1) 現状分析

- ・地下空間の普及が進まない制約条件の抽出
- ・地下空間開発による付加価値の評価（メリット、デメリット）
- ・情報収集

(2) 対策検討

(3) 成果の発信（PR、啓蒙活動）

2.3 研究体制

上記項目について、各小委員会代表の委員によるグループ活動、および各小委員会との連携によって調査・研究を推進する。得られた成果については、シンポジウム、ホームページ等を活用し、当委員会委員へはもちろん、広く一般の方へ発信する。

2.4 スケジュール

平成 18 年度	情報・資料の収集・整理およびアンケート調査実施，成果の発信
平成 19 年度	報告書作成，成果の発信

3. 活動経過

2006年8月31日 第1回小委員会

・小委員会運営方針の検討

「当面の活動」として次の3項目を設定

地下空間利用に関する基本的問題点の検討

学生・一般への啓蒙活動（見学会開催）

地下空間に関する知見の再構成（既刊図書の改訂、補追）

2006年9月21日第2回小委員会

・以下に関する意見交換

地下空間利用に関する基本的問題点の検討

学生・一般への啓蒙活動（見学会開催）

地下空間に関する知見の再構成（既刊図書の改訂、補追）

情報発信の方法について

2006年11月17日第3回小委員会

地下空間利用に関する基本的問題点の検討

・地下空間利用のメリット・デメリットについて各小委員会の切り口で評価表を作成

地下空間関連既刊図書の調査結果報告

学生・一般への啓蒙活動（見学会開催）に関する意見交換

4. 委員名簿

役職	氏名	勤務先	役職	氏名	勤務先
委員長	大西 有三	京都大学大学院	オブザーバ	工藤 康博	(株)三菱地所設計
副委員長	岸田 潔	京都大学大学院	オブザーバ	入江 健二	東京地下鉄(株)
委員	村田 哲哉	(株)ドーコン	オブザーバ	粕谷 太郎	鉄建建設(株)
委員	井田 隆久	(株)銭高組			
委員	西田 幸夫	東京理科大学			
委員	岡嶋 正樹	パシフィックコンサルタンツ(株)			
委員	森 康雄	(株)熊谷組			
委員	高橋 晃	東京電力(株)	幹事	酒井 喜市郎	鉄建建設(株)
委員	松永 浩	東京電力(株)	幹事	安藤 慎一郎	(株)竹中土木

（平成18年11月現在）